

たぶんかしゃかい
多文化社会の

いぶんか しゅうかつ かんが
異文化「終活」を考えるセミナー

がいこくじんこうれいしゃ まいとしふ
外国人高齢者は毎年増えています。
にほんじんせい おひとふ
日本で人生を終える人も増えていくと考えられます。
し たい かんが かつ ぶんか しゅうきょう しゅうかん ちかかん さまざま
“死”に対する考え方は、文化や宗教、習慣、価値観のちがいによって様々です。
たぶんかしゃかい じゅうぶん りかい たいせつ
多文化社会では、こうしたことを十分に理解することが大切です。
いぶんか しゅうかつ こんご かんが くだい
異文化「終活」は、今後、考えていかなければならない課題です。
こんご とく
このセミナーが、今後の取り組みにつながるよう
さんかしゃ かんが おも
参加者といっしょに考えていきたいと思ひます。

にち じ ねん がつ にち だよび
日 時：2020年7月11日（土）

13:30～16:30（受付:13:00～）

ほう ほう
方 法：Zoomでのオンラインミーティング

さんかひ むりよう
参加費：無料

参加を希望される方は、7月9日（木）までに、「セミナー申込」と明記のうえ、以下のメールアドレスまでお申し込みください。

tabunka.social.movement@gmail.com(TSM 事務局)

1 セミナーの趣旨説明

たぶんか いぶんか しゅうかつ ひつようせい
多文化ソーシャルワークにおける異文化「終活」の必要性について

2 愛知県からの説明

あいちけん せいめい
愛知県における外国人の「終活」に関する取組について（愛知県多文化共生推進室）

3 在日外国人の「終活」事情

ブラジルの場合：大島ヴィルジニア・ユミ 氏（ブラジリアンコミュニティ通訳サポートの会）

インドネシアの場合：ラップマ・クマラ・デウィ 氏（日本インドネシア家族勉強会）

中国の場合：王榮 氏（あいち多文化ソーシャルワーカーの会）

4 ディスカッション

主催：愛知県立大学生涯発達研究所・多文化共生研究所

共催：愛知県立大学地域連携センター、あいち多文化ソーシャルワーカーの会、外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト、多文化ソーシャル・ムーブメント(TSM)